

20S EVO

のココがスゴイ!

ココがスゴイ! 1

8人で通話ができる!

「グループインターコム」機能を使えば、20S EVOを使う8人が同時に会話することができる。8人の接続はアプリの画面上でできるからとてもカンタン。ちょっとしたマズーリングにはぜひオススメの機能だ



ココがスゴイ! 2

呼び出しはボイスコマンド

「Hello SENA!」と呼びかけて、インターコムや電話、音楽といった20S EVOの各機能を、声で切り替えられる「ボイスコマンド」。20S EVOのメモリーダイヤルを呼び出して電話をかけるのも声でOK!

ココがスゴイ! 5

スマホで操作ができる!

20S EVOは専用「SENAアプリ」で各種設定や操作をすることができる。スマートフォンをハンドル周りに取り付けておけば、本体に触ることなくスマホがタッチパネルで20S EVOを作できてとても便利だ



ココがスゴイ! 3

通話しながら音楽が聴ける

インターコム通話で聞こえる仲間の声のバックに、自分のスマホの音楽を重ねて聞けるのが「オーディオマルチタスク」。バックにナビの案内音声を流しておけば、会話中に案内音声を聞き逃すこともない



ココがスゴイ! 4

FMラジオを搭載している

20S EVOはFMラジオ機能も搭載している。AMラジオ放送を再送信しているワイドFM(FM補完放送)もカバー。地方に行けばご当地の情報や交通情報の収集に頼もしい存在となること間違いなし!



ココがスゴイ! 6

タップ1発で全員とつながる!

8人のグループ通話というと、休憩の後に再び接続する操作が複雑になりそうなもの。しかし20S EVOならグループの再接続もボタンの一押しでOK。走行中にグループが途切れてしまっても、再接続はワンタッチだ



Other Item

発売時期
2月8日



10C PRO Wi-Fi

価格:5万3784円

インターコムとアクションカメラが一体になった画期的な「10C」もWi-Fi機能付きの「PRO」に進化。映像を見ながらカメラアングルの調整も簡単だ

発売時期
2月8日



Prism Tube Wi-Fi

価格:2万4624円

マイクとスピーカーが付いたバイク専用アクションカム。新たにWi-Fi機能を搭載し、スマホアプリでカメラアングルのモニターができるようになった



セナ・インターコムのアイコンにもなっている大きなジョグダイヤル。ダイヤルを「押す」か「回す」ことでほとんどの操作ができる

SENA 20S EVO

価格:3万7152円(ソロ) 7万1064円(ペア)

Specifications

サイズ:94.7×48.3×25.5mm (メインモジュール)

重量:60g (ヘッドセット) 通信距離 (インターコム):最長2.0km

同時通話:8人 通話時間:13時間 待受時間:240時間



BGM付きで仲間とおしゃべりできるあのベストセラール! セラールがリニューアル!

インターコムのグローバルブランド「セナ」そんなセナのベストセラールが「20S」だ音楽を聴きながら通話ができる機能をはじめ革新的な機能の数々をもったこの20Sがアンテナを本体に内蔵し、スタイリッシュなデザインに進化した「EVO」として登場だ!

問:セナルーターンシヤパン <https://senaluturn.jp/>

スタイリッシュなアンテナ一体型フォルム

「20S EVO」の最大の魅力は、音楽を聴きながらインターコム通話ができる「に尽きる。「オーディオマルチタスク」と名付けられたこの機能。以前は音楽を聴くこととインターコムで通話することは、必ず切り替えて使う必要があった。しかし20S EVOであれば、インターコムで仲間と会話をしながら、スマホに入れた音楽をBGMとして楽しむことができる。また、8人という大人数でグループ通話ができるのも20S EVOの特徴のひとつ。専用のアプリを使えば、スマホの画面を見ながらグループを作るのも簡単だ。このほかにも革新的な機能が数多く備わっている。

デザインはスタイリッシュなアンテナ一体型フォルム。これならアンテナを引っ掛けて折れたりするといったトラブルも少ない。さらに大きなジョグダイヤルは、グローブをはめた手でも直感的に操作することができる。

至れり尽くせりの機能で、完成されたデザインの20S EVO。オリジナルの20Sは2014年の発売以来、多くのライダー支持されてきたベストセラールということからも、その実力は証明済みだ。